

誇りある国づくりをめざすオビニオン誌

日本の息吹

熊本県民版

発行所
日本会議熊本
担当 山下
事務局 〒860-0005
熊本市宮内3-1
熊本県神社庁内
TEL 096-322-7484
FAX 096-322-7494
EMal knippon@
crocus.ocn.ne.jp

海づくり大会 奉迎活動報告

事務局長 片岡正憲

去る、十月二十六日から二十八日まで、天皇皇后両陛下ご臨席の下、第三十三回全国豊かな海づくり大会が熊本県で開催されました。

今回は以前までの奉迎と違い行在所の変更から、提灯奉迎を行う場所がなく、提灯奉迎を本当に開催できるのかどうかも心配されるような状況からのスタートでした。

その様な中で大きな力となったのは、ご即位十年、二十年という運動の積み重ねでした。まず県庁・県警との三者会議で、初めに熊本城が使用できる事となり、その後の熊本城との交渉の中で、熊本市が提灯奉迎に共催することが決まりました。

文化財が多く点在する熊本城は管理が厳しく、火気の厳禁を初め様々な制約があり、ご即位十年の際も大変な交渉が続いたと聞いております。しかし、今回は市が共催に入ることでの火気の使用や備品の貸し出しなどを行ってくれ、ご即位十年の時に苦労した内容は全て熊本城管理事務所が行ってくれました。

更には以前の奉迎の際には、城内にある神社が、奉迎者が見える様にする為、木の枝を切ったところ、厳重注意の上、始末書を書かされたそうですが、今回の奉迎では、熊本城管理事務所

所が枝を切ってくれ、奉迎場所の葉っぱも落としてくれ、前回と比べて大きく状況が前進しました。

またご答礼予定のお部屋からの下見も行い、それ以外の奉迎場所として民間の私有地であるZCパーキング、郵政局駐車場を見つけ交渉した所、快く場をお貸し頂き、こちらが描いた希望がほぼ全て適いました。

また、沿道奉迎も、ご訪問・ご通過予定の自治体の担当者、議会議長、県庁、県議会議員、奉迎委員会事務局で関係自治体実務者会議を開催。全ての自治体が自治会などを通じ、回覧板等でご通過予定やご訪問予定を県民に流してくれ、日の丸の国旗の配布にも、役場の職員に出て頂き、全面的にご協力頂きました。

震災のご慰問などを通じた陛下のご努力が多く、心を動かした影響で、マスコミの事前取材も多く、熊本日日新聞が、行幸啓の詳細を知りたい方は奉迎委員会へと新聞・TVに掲載し、役場に問い合わせがあった場合も全て奉迎委員会に回すようになっていたため、最後の一週間は受話器を置いた瞬間に着信があるという状況が延々と続き、その状態は陛下が御立ちになる直前まで続きました。

ご来熊当日は奉迎委員会や自治体の広報の効果か、物凄い人が連日各地に詰めかけ、最初のご訪問地で事務局が用意していた予備の小旗がほぼなくなり、急遽送っていただいたり、カラーコピーやプリンターで印字したりして追加しましたが、総勢四万七千本用意した日の丸の小旗は全く足りず、報道によると約十八万人の人々が奉迎に詰め掛けたとのことでした。沿道には奉迎委員の私学協会から約千三百人の高校生たちや、同じく委員の保育協議会の園児さん、付属小学校の約六百人の生徒た

ちも参加し、老若男女問わず、正に県民上げての奉迎を行うことが出来ました。

提灯奉迎では熊本城に開始四時間前から列ができ、あまりにも列が続きすぎたため、入場時間を四十分繰り上げましたが、あまりの内に城内に入りきれず千人以上の方々にお帰り頂くという状況となりました。あまりの内に五千六百個用意していた提灯では足りず、多くの方々が、何も持たないでも、提灯奉迎に参加したいとその場に残られ、総勢約八千人で提灯奉迎を行いました。帰られた方も含めると約一万人近くが集まった提灯奉迎となりました。

最後に、今回の奉迎は私達日本会議熊本が、行政やマスコミの調整役となり、多くの県民に情報をお伝えすることが出来ました。県庁・熊本市ともに、予想をはるかに上回る人々が参加されたことに驚き、熊本の皇室尊崇の念を実感したと言っておりました。



日本の誇り「歴史体験セミナー」に参加して

会員 山下正順

十月十二日から十四日にかけて、三重県伊勢市と鳥羽市で開催された歴史体験セミナーに参加いたしました。二十年に一度のお伊勢様の御遷宮の年でもあり、今回は全国から例年以上に多くの参加者がありました。熊本からも多くの方が御参加されており、主催の日本協議会事務局から「たくさん来ていただきありがとうございます」との感謝の御言葉をいただきました。

セミナー二日目には見事な秋晴れの元、御遷宮を終えたばかりの木の香漂う内宮・外宮で御垣内参拝をさせていただきました。御垣内の石を踏みしめながら日本の安寧を皆様と共に祈りする一時は言葉に尽くせないほどの感動を覚えました。加えて、外宮の古殿地（二十年間お宮だった場所）の拝観を特別に見学させていただきました。参加者の方と共に歴代天皇陛下下の神宮についての御製を拝誦し、また、西行や本居宣長、松尾芭蕉などの和歌や俳句を詠みながら宮域内を拝観いたしました。

他にも伊勢神宮のことや遷宮についての御講義やせんぐう館見学という充実した内容のセミナーで、大変勉強になりました。このような貴重な体験ができたこと、天候に恵まれたことなど、伊勢の大神様がお護りくださっているように感じました。美しい日本を護るために国民の一人として、もっと努力を重ねていきたいとの思いを強くした一日でした。

日本の誇りセミナー報告

会員 山下正順

去る十一月四日(休)、日本の誇りセミナーを『辺野古はなぜ基地を受け入れたのかーキャンプ・シユワブへの「統合・縮小」の早期実現をー』と題し熊本県護国神社内・英霊顕彰会館で開催いたしました。

当日は朝早い時間帯にもかかわらず五〇名を超える多くの方々のご参加いただきました。

講師の三萩祥氏は月刊誌「祖国と青年」(日本青年協議会発行)編集部員で、チャンネル桜等に何度も出演しているらしいやいます。

講演会では講師自ら沖縄へ行った体験をもとに、わかり易く沖縄の基地問題の現状を報告していただきました。

特に基地移設反対派の主張する内容がいかにデタラメであるか、また写真を示しながら反対派による反対活動の酷い状況等をお聞きし、沖縄がいかに大変な状況であったのかを改めて考えさせられました。

しかしこのような状況も地元有力紙に意見広告を掲載した広報活動等により沖縄の雰囲気も徐々に変わり「ようやく辺野古移設を口に出せる雰囲気になった」「辺野古移設の県民の声が上がるのを待っていた」と言った沖縄県民の声が上がるようになってきたとのことでした。

今後、この問題がどのように動いていくのか、そして自分たちに何ができるのか考えていきたいと改めて思いました。

大東亜会議・共同宣言七十年

理事長 多久善郎

今年の十一月五日・六日は、昭和十八年に東京で開催された大東亜会議から七十年という節目の日だった。私は、全国各地で開催している日本の誇りセミナーの十一月のテーマを「重光葵 日本の理想を世界に表明した外交のスペシャリスト」と定めて講演している。昭和天皇の大御心を体して、「対支新政策」「大東亜新政策」を推進した立役者が重光外相である。六日に採択された「大東亜共同宣言」は、英米の大西洋憲章に対抗して、わが国の戦争目的を世界に表明する「思想戦」として、英米がその植民地を維持せんとする弱点を突いて、アジア諸国の独立・共存共栄を高らかに謳ったものだった。日本・中華民国(南京政府)・満州国・ビルマ・タイ・フィリピン・自由インド仮政府、七カ国の代表が東京に集まって高らかに宣言した。

私は、大東亜会議の立役者である重光葵の墓参を為すべく、福岡でのセミナー受講生の大学生二人と共に、十一月六日に大分県杵築市の重光家(葵が幼少から中学まで勉学に励んだ)、国東市安岐町の山溪偉人館(重光葵資料館)・重光葵墓地を訪れた。重光家では活字になっていない重光葵の様々な和歌と出会い、資料館では昭和六十二年の逝去三十年に出された『重光葵写真集』を分けて戴いた。墓前では、参拝の後、重光が残した愛国・恋闕の短歌を拝誦し、大学生が「大東亜共同宣言」を高らかに読み上げた。歴史から抹殺されつつある日本の理想を刻んだ、大東亜共同宣言の言霊が七十年後の記念日に重光葵の墓前に響き渡った。

【豆知識百六十九回】 世界経済の現状

副会長 花吉洋一

第二次大戦は、米ソ英と日本・ドイツの戦いで、資源のない日本とドイツの敗戦で戦後約七十年が経過した。現状はどうか？

米国は、経済的な衰退が危惧されたが、シェールガスの開発と、移民を含め年に三百万人の人口増で、経済が盛り返し、海外移転の企業も米国に帰りつつあり、前途は明るい。

ヨーロッパは、米国と日本に対抗する為、フランスが中心になりEUを作った。ところが、ギリシアの経済危機で、EUの経済はガタガタ、フランスのサルコジ大統領は、ドイツのメルケル首相と何とかうまくやっていたが、去年社会党を基盤のオランダ大統領に変わり、経済が動かなくなった。今のEUの面倒を見ているのはドイツであり、メルケル首相だ。

ロシアは大資源国だが、経済は駄目で、日本が天然ガスを買ってくれるのを待っている。北方領土を返さなければ、買う必要はない。

中国はご承知の通りで、国内は公害だらけ、経済どころか腐敗と汚職で、革命寸前である。

ブラジル、インドその他の新興国も経済は前途多難で、ブラジルのワールドカップもオリンピックも開催できるかどうか、分からない。

世界で残るは、矢張り米国、日本、ドイツである。日本もアベノミクスで明るい。

資本主義で、世界の国々は豊かになった。

ニセ資本主義のロシアや中国の経済は、インチキ経済で、自然破壊と公害を生むだけだ。

【行事案内】

天皇誕生日奉祝式典

- 日時 十二月二十三日(祝) 午前十時～
会場 県民交流館パレア(鶴屋東館十階)
参加費 無料 参加者にはお土産があります
奉納 子供日本舞踊「わらべ」
主催 主要祝日等熊本県奉祝会
☆ 来年の皇室カレンダーを販売いたします

落語『チョビット・チベット』

- 日時 十二月八日(日)午後六時半～八時
会場 法泉寺(九品寺二丁目六一七)
出演 桂 七福(真打)
入場料 前売 一五〇〇円 当日 二千元
主催 九州スーパーサンガ
☆ チケットが必要な方は日本会議熊本事務局までご連絡下さい
TEL 096-322-7484

建国記念の日奉祝式典

- 日時 平成二十八年二月十一日(祝) 午前十時～
会場 熊本市国際交流会館十階ホール
参加費 無料 参加者にはお土産があります
主催 主要祝日等熊本県奉祝会